

学長の業績評価（令和3年度）

国立大学法人富山大学学長選考・監察会議は、「国立大学法人富山大学学長の業績評価に関する申合せ」等を踏まえ、以下の考え方を基本として、令和3年度学長の業績評価を実施したのでここに公表する。

1. 学長の業績評価は、大学の使命達成とさらなる発展に向けて、学長の適切な業務遂行に資するために実施する。
2. 今年度の評価の対象は、大学全体の実績に対する「全体評価」及び学長の「個人評価」のうち、全体評価となる（1）及び（2）の2項目とする。
 - （1）中期目標期間の大学の業務実績を通じた評価
 - （2）大学の機能強化の取組と重点支援を通じた評価
 - （3）大学改革等に向けた取組に係る評価
 - （4）大学ガバナンスとリーダーシップに係る評価
3. 大学法人評価等の結果を利用する「全体評価」については、前年度の令和2年度に係る評価をもって本年度の評価とする。

令和 4年 5月31日

国立大学法人富山大学学長選考・監察会議

令和3年度学長の業績評価

(1) 中期目標期間の大学の業務実績を通じた評価

【評価方法】

法人の中期目標期間に掲げる業務運営や財務内容等に関する目標計画の進捗に対し、大学運営の責任者である学長をもって評価する。評価は、大学の自己評価による「令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書」及び国立大学法人評価委員会による「令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果」を踏まえた評価とする。

【概要】

○全体評価

学長のリーダーシップの下、大学の重点研究分野（脳科学分野、未病分野、材料分野）推進のため、「研究推進機構アイドリング脳科学研究センター」、「未病研究センター」及び既存組織である「都市デザイン学部附属先端材料研究センター」を発展的に改組した「先進アルミニウム国際研究センター」を新設し、研究体制の整備を図った。また、富山大学ダイバーシティ推進センター（令和2年4月1日新設）が中心となって、富山大学におけるダイバーシティ（全ての大学構成員が活躍できる教育・研究・職場環境作り）を推進し、また社会的に配慮の必要性が高まっている性的指向・性自認（SOGI）についても対応するため「富山大学ダイバーシティ推進宣言」、「ダイバーシティ推進のための基本方針」及び「富山大学多様な性的指向・性自認（SOGI）に関する基本指針」を策定し、学内外に公表するなど、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

○項目別評価

1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

組織運営の改善、教育研究組織の見直し、事務等の効率化・合理化など、中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。

2) 財務内容の改善に関する目標

外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加、経費の抑制、資産の運用管理の改善など、中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。

3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

評価の充実、情報公開や情報発信等の推進など、中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。

4) その他業務運営に関する重要目標

施設設備の整備・活用等、安全管理、法令遵守など、中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。

なお、向精神薬の管理が不適切であった事項について課題として指摘されていたが、学長から担当理事に、速やかに改善指示が出されている。

○教育研究等の質の向上の状況

自己評価では、教育、研究、社会貢献における取組として、以下の事項が特記されている。

- ・カリキュラムの体系化及び改善に関する取組
- ・ニーズ・特色のある教養教育と、教養教育一元化に関する取組
- ・大学院組織再編の検討
- ・授業実施の継続に関する取組
- ・インターンシップに関する取組
- ・新たな募集区分での入学者選抜に関する取組
- ・地域の活性化に向けた研究の推進に関する取組
- ・共同利用に資する研究設備の計画的整備
- ・若手研究者の育成に関する取組
- ・医工連携体制による新型コロナウイルス中和抗体取得に関する研究
- ・地域ニーズに応じた人材育成に関する取組

- ・地域の生涯学習の拠点としての学習機会提供

【評価】

大学の自己評価及び国立大学法人評価委員会による評価結果を踏まえ、順調であると評価する。

特に、学長のリーダーシップのもとで、脳科学・未病・材料等の重点研究分野の推進体制が整備されたこと、大学のダイバーシティ推進センターを中心に、大学が基本とするダイバーシティの推進に積極的に取り組んでいることが評価される。なお、向精神薬の管理不適切が指摘されている。再発防止に向けた点検等について、遺漏の無いよう対応されたい。

(2) 大学の機能強化の取組と重点支援を通じた評価

【評価方法】

大学の機能強化に向けた取組とその重点支援に対し、大学運営の責任者である学長をもって評価する。評価は、文部科学省による令和3年度国立大学法人運営費交付金に係る「評価に基づく資源配分」の結果を踏まえた評価とする。

【概要】

第3期中期目標期間（2016年度）より国立大学法人運営費交付金に設けられた「3つの重点支援の枠組み」における重点支援①（地域のニーズに応える人材育成・研究を推進）を選択した大学のうち、附属病院を有する28大学中での資源配分により評価する。

○成果を中心とする実績状況に基づく配分

各国立大学法人におけるマネジメント面での改革を一層推進するとともに、教育・研究のさらなる質の向上を図る観点から、成果に係る客観・共通指標により実績状況を相対的に把握した上で、評価に基づき運営交付金の一定額が再配分されることとなるもの。

卒業・修了者の就職・進学率（学士課程）※1

評価結果：偏差値 57.036 ※2，再配分率 120%（配分基礎額 17,622 千円，再配分額 21,147 千円），順位 3位/28 大学中（前年度 8位/55 大学中 ※3）

卒業・修了者の就職・進学率（修士課程）

評価結果：偏差値 54.587，再配分率 105%（配分基礎額 23,496 千円，再配分額 24,671 千円），順位 12位/28 大学中

卒業・修了者の就職・進学率（博士課程）

評価結果：本学の偏差値 49.585，再配分率 90%（配分基礎額 23,496 千円，再配分額 21,147 千円），順位 17位/28 大学中

博士号授与率

評価結果：偏差値 53.420，再配分率 115%（配分基礎額 64,614 千円，再配分額 74,307 千円），順位 6位/28 大学中（前年度 15位/55 大学中）

大学教育改革に向けた取組【新】※4

評価結果：点数 19.17/26 点中，再配分率 115%（配分基礎額 52,866 千円，再配分額 60,796 千円），順位 7位/28 大学中

若手研究者比率

評価結果：偏差値 43.003，再配分率 80%（配分基礎額 135,101 千円，再配分額 108,081 千円），順位 23位/28 大学中（前年度 46位/55 大学中）

新規採用者に占める若手研究者比率【新】

評価結果：偏差値 40.916，再配分率 80%（配分基礎額 46,992 千円，再配分額 37,594 千円），順位 25位/28 大学中

常勤教員当たり研究業績数

評価結果：偏差値 48.269，再配分率 120%（配分基礎額 88,110 千円，再配分額 105,732 千円），順位 5位/28 大学中（前年度 17位/55 大学中）

常勤教員当たり研究業績数（伸び率）【新】

評価結果：偏差値 65.924，再配分率 120%（配分基礎額 29,370 千円，再配分額 35,244 千円），順位 4位/28 大学中

常勤教員当たり科研費受入件数・受入額

評価結果：偏差値平均 45.441（件数 44.904，額 45.978），再配分率 100%（配分基礎額 88,110 千円，再配分額 88,110 千円），順位 13位/28 大学中（前年度 35位/55 大学中）

常勤教員当たり科研費受入件数・受入額（伸び率）【新】

評価結果：偏差値平均 67.806（件数 64.638，額 70.974），再配分率 125%（配分基礎額 29,370 千円，再配分額 36,713 千円），順位 2 位/28 大学中

常勤教員当たり受託・共同研究等受入額

評価結果：偏差値 40.123，再配分率 75%（配分基礎額 88,110 千円，再配分額 66,083 千円），順位 27 位/28 大学中（前年度 44 位/55 大学中）

常勤教員当たり受託・共同研究等受入額（伸び率）【新】

評価結果：偏差値 44.363，再配分率 85%（配分基礎額 29,370 千円，再配分額 24,965 千円），順位 20 位/28 大学中

人事給与マネジメント改革状況

評価結果：評点 6.3，再配分率 80%（配分基礎額 82,236 千円，再配分額 65,789 千円），順位 24 位/28 大学中（前年度 26 位/55 大学中）

会計マネジメント改革状況

評価結果：評点 会計：3.0，施設 0.0，再配分率 80%（配分基礎額 41,118 千円，再配分額 32,895 千円），23 位/28 大学中（前年度 会計 5 位，財務 9 位/55 大学中）

ダイバーシティ環境醸成の状況

評価結果：偏差値 49.929，再配分率 100%（配分基礎額 23,496 千円，再配分額 23,496 千円），13 位/28 大学中（前年度 45 位/55 大学中）

寄附金等の経営資金獲得実績

評価結果：常勤教員当たり獲得実績額 1,338,097 円，再配分率 85%（配分基礎額 129,227 千円，再配分額 109,843 千円），20 位/28 大学中（前年度 38 位/55 大学中）

寄附金等の経営資金獲得実績（伸び率）【新】

評価結果：偏差値 50.823，再配分率 95%（配分基礎額 46,992 千円，再配分額 44,643 千円），16 位/28 大学中

合計

再配分率 95.4%（配分基礎額 1,039,686 千円，再配分額 991,788 千円）

- ※1 卒業・修了者の就職・進学率は，昨年度まで全課程での評価となっていたもの
- ※2 偏差値は全国立大学法人を対象として算出
- ※3 昨年度までは重点支援①を選択した 55 大学の中での評価となっていたが，今年度はそのうち附属病院を有する 28 大学での評価に変更された
- ※4 【新】は，今年度新たに指標化された項目

○独自指標に基づく配分(大学の評価指標に基づき再配分(機能強化経費の「機能強化促進分」))

各国立大学が機能強化を実現するため自主的に設定した「評価指標(KPI)」に基づく各項目の KPI ポイントの合計から算出した大学全体の評価ポイントに基づき，運営費交付金の一定額が再配分されるもの。ただし，本事項は，第 3 期中期目標期間中での実施とされており，配分時期が令和 4 年度（第 4 期）となる今年度の評価は行わないこととなったため，学長評価の対象から外すこととした。

なお，本学が策定した戦略及び設定した評価指標(KPI)は以下のとおり。

1. 教育研究組織の再編を起点とした全学的教育改革により，人材育成機能の強化を図る。

[評価指標]

- ①アドミッション・ポリシー見直しによる，AO入試募集人員数の状況
- ②カリキュラム・ポリシーの見直しによる授業科目改善（学生の授業評価における満足度）
- ③ディプロマ・ポリシー見直しによる，身に付いた能力の学生の自己評価
- ④インターンシップ参加状況

2. 生命科学および自然科学で世界レベルの先端的、独創的、学際的・分野横断的研究を推進する。

[評価指標]

- ①論文数（第3期中期目標期間の総数）
- ②論文の被引用数（第3期中期目標期間の総数）
- ③共同研究の受入件数（第3期中期目標期間の総数）
- ④受託研究の受入件数（第3期中期目標期間の総数）

3. 地域活性化の中核拠点として、自治体と連携し、教育・研究・社会貢献の分野において、地域社会の活性化に寄与する。

[評価指標]

- ①地域の自治体・企業等との連携協力に関する協定締結に基づく取組総数
- ②地域の活性化に関する研究推進のための民間等共同研究員の受入総数
- ③地域を志向した教育の実施状況
- ④社会人を対象とした地域再生人材育成事業の修了者数

【評価】

大学の機能強化の取組と重点支援を通じた評価は概ね良好である。特に、卒業・修了者の就職・進学率、大学教育改革に向けた取組、常勤教員当たりの研究業績数及び科研費受入件数・受入額の伸び率についての結果は順調である。一方で、若手研究者比率や常勤教員当たり受託・共同研究等受入額については、前年度に引き続き下位の評価となっている。

法人は、教員組織と学生入学定員の充足を教育研究推進の基本に掲げ、エビデンスベースの改革を進めている。直ぐに成果は出ないかもしれないが、構成員と意識を共有し、組織が一体となって鋭意かつ地道に取り組んでいただきたい。